

## 社会人になって気付いた学生時代の貴重な日々

大久保 真穂

後輩の皆さん、こんにちは。6年制薬学部を卒業後、4年制の博士課程を修了した1期生の大久保真穂と申します。私は学部から大学院まで薬物動態学研究室で研究をさせていただき、現在は製薬会社で創薬研究職に就いております。僭越ながら後輩の皆さんにメッセージを送りたいと思います。

突然ですが、皆さんは日々の生活をどう感じていますか。毎日こんなに勉強しなければいけないなんて辛い、とっていませんか。私自身、大学時代に他学部の友達と自分の時間割との違いに愕然としたことを覚えています。しかしながら今ではあ頃のお勉強は大変貴重なものであったと感じているのです。

社会人になってみて思うことは、教えてもらえることは本当に有難いことだということ。皆さんは各自教科書を読むだけのお勉強をしているわけではありませんね。その道の専門家の先生が講義を行い、質問に答えてくれて、理解度をテストでチェックしてもらっています。社会に出てから同じように学ぼうとすると、とても多くのハードルをこえなくてはなりません。それにもかかわらず社会人でも学ばなければならないことはたくさん存在します。独学で勉強をするのはとても大変です。今は学校に通っているのだから教えてもらえることが当然、と感じているかもしれませんが、その当たり前はとても貴重です。日々の講義の1回1回を是非大切にしてみてください。

大学院生の皆さん。私たちにはもう試験もないし、社会人と同じだと思っていませんか。実は学生として行える研究もとても貴重です。私は大学院時代に研究室で実際の患者さんの血液検体を扱い、比較的自由に興味のあるところの研究ができました。しかしながら企業ではくすりづくりに直結するかという枠組みの中で研究することになります。くすりにならないとわかればあっさり手を引かなければならないこともあるでしょうし、企業によっては疾患の領域も決まっているはずです。さらに皆さんは大学院を修了する前に、論文を書いたり、学会に参加したりすると思います。時には国際学会の参加もあるかもしれません。こういった経験も企業では誰もが簡単にできるわけではありません。もちろん企業でしかできない経験も数多く存在しますが、大学院生の今しかできない経験を存分にしてください。たとえうまくいかなかったと感じる結果になったとしても、その経験は必ず糧になります。

最後にもう一つだけ。24時間すべてを勉強だけの時間にはしないでください。今隣にいる先輩、同級生、後輩と過ごす楽しい時間も大事にしてください。長い時間を一緒に過ごした仲間とのつながりは、卒業してからも途切れないものだと思います。たくさんのおものを大事にして、大学生活を良かったと思える充実したものにしてください。先輩として、皆さんのことを応援しています。